

夢湧き夢に夢中

第13号

令和6年10月31日 文責：大谷

思いを繋ぐとは

「夢を持ち おもいを繋げ」WE CAN DO ITのスローガンのもと、足立実行委員長長の「みなさんへの感謝の気持ちを持って全力で楽しみたい」という言葉とともに開会した今年の学習成果発表会。少し時間は経過してしまっただものの、当日の写真を見返してみると、限られた時間の中で、いかに仲間と力を合わせてその日を迎えたのが鮮明に見えてくる。改めて皆さんと、そして皆さんを支えてくださった先生方に敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げたい。

一年生による農業体験の発表は、南阿蘇村の基幹産業の一つである農業について、某テレビ番組をモチーフに構成してあり見応え抜群だった。続く二年生の職場体験学習の発表では、様々な職種を網羅した発表に加え、なかには実演まで交えてくれて、新たな学びの機会となった。さらに、最後の三年生の発表では、これまでの学びを「南阿蘇村のCM」に仕立てて見事に総括してくれた。三学年の発表を見終えたとき、まるで一年生から三年生までの各学年の発表が、あたかも「愛する南阿蘇村」とても題したような三幕作に構成されていたようだなんとも言えない清々しさを感じた。「みんな故郷のことが心から好きなんだな」と。

「この子たちなら南阿蘇村を託せる」
そう思われたのではないだろうか。だから、前述のようなお電話をいただけるのだ。地域の皆さんから未来への大きな思いを繋げられた。さて、その思いを、自分の未来にどう繋ぐか。思いうか、これまでの学びを決して止めず、未来の自分と南阿蘇村のために繋いでほしい。スローガンのごとく。



すると、翌朝、こんなお電話をいただいた。
「南阿蘇村のよさを一生懸命発表してくれて、とてもよかったです。生徒さんたちにくれぐれもお礼を伝えてください」
皆さんの発表を通じて受けた感銘は、どうやらわたしだけではなく、むしろ多くの地域の方々には大きな反響をもたらしたようだ。

「この子たちなら南阿蘇村を託せる」
そう思われたのではないだろうか。だから、前述のようなお電話をいただけるのだ。地域の皆さんから未来への大きな思いを繋げられた。さて、その思いを、自分の未来にどう繋ぐか。思いうか、これまでの学びを決して止めず、未来の自分と南阿蘇村のために繋いでほしい。スローガンのごとく。

午後は、合唱コンクールを迎えた。こちらも非常に短い練習期間だったろうが、どの学級も見事に合唱を仕上げていることが驚いた。初めての合唱コンクールで緊張しながらも男女のハーモニーを一生懸命合わせようとしていた一年生。ークラスの人数は少ないながらも、男女それぞれの歌声にまとまりを感じた二年生。そして、最後の合唱という思いが歌声となって圧巻のハーモニーを奏でた三年生。さらに、もしかしたら夏休みくらいから練習を積んできたであろう伴奏者の皆さんと、苦悩しながらも合唱の練習をリードしてきた指揮者の皆さんにも感謝だ。夢を持って思いを繋ぐと夢中になっていた皆さんの姿は、わたしの夢そのものだ。



去る10月18日に開催された阿蘇郡市中学校総合体育大会駅伝競走大会で、女子が第3位、男子が優勝、そしてBチームも第7位と大活躍を見せてくれました。そして、優勝した男子は、来る11月8日に天草市で開催される県大会に阿蘇郡市代表として出場します。どうか皆様の熱い応援をお願いします！！

去る10月18日に開催された阿蘇郡市中学校総合体育大会駅伝競走大会で、女子が第3位、男子が優勝、そしてBチームも第7位と大活躍を見せてくれました。そして、優勝した男子は、来る11月8日に天草市で開催される県大会に阿蘇郡市代表として出場します。どうか皆様の熱い応援をお願いします！！